

サーバーワークス、AWS提唱の「AI-DLC」を自社開発プロセスへ導入・検証開始

アマゾン ウェブ サービス（以下：AWS）のAWSプレミアティアサービスパートナーである株式会社サーバーワークス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大石 良、以下：サーバーワークス）は、AWSが提唱するAIネイティブなソフトウェア開発ライフサイクル「AI-Driven Development Lifecycle（以下：AI-DLC）」を自社の開発・運用プロセスに導入、検証を進めていることをお知らせします。

■検証開始の背景

多くの企業で生成AIの活用が進んでいますが、その多くは「既存の開発プロセスにおけるコード生成」といった局所的な効率化に留まっています。その中でサーバーワークスは、ソフトウェア開発ライフサイクル（SDLC ※1）全体の抜本的な変革を目指し、AWSが提唱する「AI-DLC」の手法に着目しました。

本手法は、従来の人間が主導する開発とは異なり、AIが計画・設計・実装を主導し、人間がその検証・承認を行う点に特徴があります。

当社では以下の3つのフェーズにおいて、この「AI主導・人間検証」のモデルが開発リードタイムの大幅な短縮に寄与すると判断し、自社プロセスへの適用検証を開始しました。

- Inception（開始フェーズ）：AIによるユーザーストーリー分解とチームによる検証（Mob Elaboration）
- Construction（構築フェーズ）：AIによるコード生成・テストとチームによる技術判断（Mob Construction）
- Operations（運用フェーズ）：AIによるテレメトリー（稼働状況データ）分析と継続的な改善提案

※1 SDLC（Software Development Lifecycle）：ソフトウェアの企画、要件定義、開発、運用、保守までの一連の工程のこと。

■AI-DLCの活用によるメリットと期待される効果

AI-DLCを用いた開発支援では、以下のような効果が期待されます。

- **数ヶ月から数日へ、開発サイクルの劇的な高速化**

AIがビジネス上の意図を解釈し、タスク分解からコード実装までを自律的に先導することで、従来数週間から数ヶ月を要していた開発サイクルを、数時間から数日単位へ短縮することを目指します。

- **意思決定プロセスの透明化と属人化の解消**

AIが開発過程の判断理由を自動でドキュメント化します。これにより、特定のエンジニアに依存しない体制を構築し、将来的なメンテナンスコストの削減を図ります。

- **エンジニアリソースの「創造的活動」への集中**

定型的なタスクや管理業務をAIが担うことで、エンジニアはビジネス価値の創出や高度なアーキテクチャ設計といった、人間にしかできない重要な意思決定に専念できます。

今後は、AI-DLCの導入を通じて自社のエンジニアリング能力を「AIネイティブ」な水準へと進化させ、これまで以上にスピード感と柔軟性のあるソリューションの提供を目指します。

サーバーワークスは、テクノロジーと人間の共創により、ビジョンである「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」の実現を推進してまいります。

■株式会社サーバーワークスについて

サーバーワークスは、「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」をビジョンに掲げ、2008年よりクラウドの導入から最適化までを支援しているAWS専業のクラウドインテグレーターです。

2025年11月末現在、1,500社、28,400プロジェクトを超えるAWS導入実績を誇っており、2014年11月よりAWSパートナーネットワーク (APN) 最上位の「AWSプレミアティアサービスパートナー」に継続して認定されています。

移行や運用、デジタルワークプレース、コンタクトセンターなど多岐にわたって認定を取得し、AWS事業を継続的に拡大させています。

取得認定、実績についての詳細はこちらをご覧ください：<https://partners.amazonaws.com/jp/partners/001E000000NaBHzIAN/>

*本リリースに記載された会社名、サービス名等は該当する各社の登録商標です。

*本リリースの情報は発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

当プレスリリースURL

<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000156.000075977.html>

株式会社サーバーワークスのプレスリリース一覧

https://prttimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/75977

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サーバーワークス

社長室 広報

担当：鈴木、田上

TEL：03-5579-8029

E-mail：pr@serverworks.co.jp